

# 安保破棄ニュース

No. 546  
2022.10.12

## 安保破棄・諸要求貫徹大阪実行委員会

〒543-0014 大阪市天王寺区玉造元町一七一三  
TEL 〇六一六七六一三三三三  
FAX 〇六一六七六一三八三六  
●Eメール anpo-osk@abeam.ocn.ne.jp  
●ホームページ <http://www.anpo-osk.jp>

# いま、日本がすべきことは何か

9月27日、故安倍元首相の国葬が強行されました。

しかし、この国葬はなんの法的根拠もなく、一片の閣議決定によって決められ、「法の下の平等」をうたった憲法14条に反して安倍元首相だけを特別扱いし、「故人に対する敬意と弔意を国全体として表す儀式」と定義づけ、憲法19条が保障する「思想・良心の自由」を侵害して主権者である国民全体に弔意と敬意を強制した憲法違反の暴挙であり、断じて許されるものではありません。

しかも、当日岸田首相が追悼の辞の中で「あなたは憲政史上、最も長く政権にありましたが、歴史はその長さよりも達成した実績によってあなたを評価するでしょう」などと褒めたたえ、「私たち世代の旗手」「日本と世界の行く末を羅針盤」とまで持ち上げてあなたも安倍元首相を神格化し、2006年の第1次安倍政権による教育基本法改定、国民投票法をはじめとする国会での

数を頼みにした国民の声を聞かない数々の法律、さらには、安保法制Ⅱ戦争法や特定秘密保護法、共謀罪法など立憲主義を破壊し日本を「戦争する国」にしようとする悪法の強行を「苦しい経過を乗り切って、成就させ、我が国の安全はより一層保たれるようになった」などと、国民の評価を一切無視して安倍政治を礼賛し、この国葬を「安倍政治の継承」を掲げる自らの政治基盤の強化に利用しようとすることを許すわけにはいきません。

また、安倍政権は数々の悪法の強行成立以外にも、立憲主義を破壊し民主主義を踏みにじる様々な悪行を行ってきましたが、その中でも、最も許されないのが2014年7月1日に行つた「集団的自衛権の行使容認」という、憲法解釈を一方的に180度覆し、自衛隊が米軍と共に海外で武力行使することが出来るようにした、まさにクーデターとも言える閣議決定です。

そしてもう一つが同じ日に「辺野古新基地建設の工事開始を決定」した閣議決定です。

今回の国葬の発端となったのが7月の参議院選挙中に起こった安倍元首相の銃撃事件ですが、その事件を通して炙り出されたのが自民党と統一協会との癒着により、政治が歪められてきたという問題

です。

10月3日によくやく開会した臨時国会の所信表明演説の中で、岸田首相は「厳しい意見を聞く」姿勢にこそ政治家岸田文雄の原点があると述べました。

そうであるならば、統一協会が反社会的団体だということや自らの認識として述べ、「関係を断つ」と言うのなら、統一協会と長年にわたって深刻な癒着関係にあった安倍元首相の調査を行い、統一協会の反社会的・反共・反動の実態と、その団体との癒着の実態を明らかにすることを強く求めます。

さて、国葬が行われた2日後の9月29日には、日中国交回復50周年を迎えたわけですが、日中関係はこれまでになく危うい状況にあると言わねばなりません。

この背景にあるのもまた、安倍政治を継承し、日米同盟の下あらゆる問題で軍事的対応を優先していることがあります。

台湾問題などを通して米中対立が強まる中、岸田首相は「抑止力・対処力強化は最優先の使命だ」などと述べ、公然と「敵基地攻撃能力保有」に向けて突き進んでいます。

そんな折、10月4日には北朝鮮が中距離弾道ミサイルを発射し、日本の上空を通過して太平洋上に落下したことを受け、さっそく松野官房長官が「日米同盟をさらに強化し、・・・」「いわゆる『反撃能力』を含め、あらゆる選択肢を排除せず現実に検討。スピード感をもって防衛力を抜本的に強化する」等と述べたことは極めて重大です。

すでに「第一列島線」上の奄美大島・宮古島・石垣島には自衛隊のミサイル基地が建設され、沖縄本島の勝連にも配備が計画されており、さらに来年度予算の概算要求では5月の日米首脳会談でGDP比2%を念頭に「相当な増額」を約束したことを受けて、スタン・ド・オブ・ミサイルなど、「敵基地攻撃」のための武器購入計画を含む過去最大の5兆5947億円が計上され、しかも金額ばかりか内訳も示さない「事項要求」が100件以上含まれるため、さらに1兆円拡大する可能性があると言われており、さらには、年末までに示されるであろう「防衛力整備計画」は今後5年間で総額40兆円超（現行2019〜23年度は27兆4700億円）を視野に検討されています。

問題は、安保法制Ⅱ戦争法の下、米軍が世界のどこであれ戦争を始めれば、集団的自衛権の発動によって自衛隊が武力行使Ⅱ戦争を開始し、「敵基地攻撃」を行う可能性があるということです。

そうならば当然、相手国からの報復攻撃を受けることになり、先ずそのための被害を受けるのは南西諸島・沖縄であることを、日米両政府は想定しています。

しかしいま日本政府が為すべきは、二度と再び沖縄を「捨て石」にしないために、軍備拡大ではなく、徹底した平和的対話と、どの国も排除することのない包摂的な国際関係を築くため、憲法9条を持つ国としての役割を果たすことではないでしょうか。

# 改憲議論より 国民生活を守る対策を！

## 臨時国会開会日行動



10月3日によろやく臨時国会が開会されました。今まで、野党がずっと開会を要求してきたにもかかわらず、岸田政権はなかなかそれにこたえようとしてきませんでした。安倍元首相の国葬を、市民の多数が反対する中、強行開催したあとの開会です。

臨時国会開会に際して、国民の声をしっかりと反映させる国会運営を求めて、国民大運動大阪実行委員会、憲法改悪阻止大阪府各界連絡協議会、安保破棄・諸要求貫徹大阪実行委員会共同で、開会日宣伝行動を天満橋駅前で行いました。

大阪憲法会議、民法協、大阪民医連、新婦人、大阪安保、大阪労連からの弁士が、国民世論を無視して強行した安倍元首相の国葬の問題や、統一協会無視して国民生活を無視しての大軍拡の問題などについて道行

## 諸団体の取り組み、当面の予定など

- 10月  
 19日(水) 大阪安保常任幹事会 10:00～  
 21日(金) 大阪安保 23 定例宣伝行動 12:00～ 淀屋橋  
 22日(土) 近畿安保合同連続学習会第7弾「変貌する自衛隊」  
 講師:石川康宏さん(14:00～オンライン)
- 11月  
 16日(水) 大阪安保常任幹事会 10:00～  
 22日(火) 大阪安保 23 定例宣伝行動 12:00～ 淀屋橋  
 近畿安保合同会議 14:00～ 大阪安保事務所

# 23 宣伝行動

9月の安保破棄大阪実行委員会 23 定例宣伝行動を 9月22日の昼12時からいつもと同じく大阪市庁舎近くの淀屋橋で行いました。今回で通算407回目の23行動となります。ビラ配布と「辺野古新基地建設工事の中止と普天間基地の無条件撤去を求める請願」署名協力を呼びかけ、プラスターなどをもってのスタンディング宣伝、弁士による訴えを11人の参加で行いました。ビラの受け取りはいつもより多く、署名に協力してくれる人もいました。

弁士は、大阪憲法会議、大阪のうたごえ協議会、日本共産党、大阪民医連から出させていただきました。

国葬反対、沖縄県知事選挙の結果を受けて「沖縄の民意を聞け！」と辺野古新基地建設反対、統一協会問題、エネルギー政策について、人の命・暮らし・健康こそ大切にしてもらいたいなど、道行く人たちに訴えかけました。



次回の宣伝行動は、10月21日(金)の12時から、淀屋橋で行う予定です。



## 大阪安保の事業活動

# ほほえみりんご はじめました



一箱10kg入り  
4700円です。

ご注文受付中です。お届けは12月10日から順次行います。来年1月末お届け分まで受け付けます。

基本は、フジと王林の詰め合わせをお届けいたします。フジのみ、王林のみのご注文も承ります。

ご注文は、大阪安保まで、Fax かメールでお願いします。多くのご注文お待ちしております。

く人たちに訴えかけました。約20人の参加で、ポテッカードや横断幕をもってのスタンディングとビラ配布を行いました。